

今の世界の
現実
を
自分ごととして
未来
に
向けて受け止める



・・・核兵器をなくすために私たちにできること・・・

学校現場で「平和」の問題をどこまで語るべきなのか。様々な政治的な思惑もあり、私たちは戸惑い、少しずつ避けてもきた。しかし、世界の趨勢は、頻発する軍事衝突をめくり、ますます危険水域に近づき、日本の過去の体験を未来に生かすべき責任が私たちには生まれつつある。それはまた、未来をこれから生きようとしている目の前の子どもたちへの責任でもある。

現在の核政策に対して、批判的に行動する若者の一人である講師の話を、地球の未来を想像しながら共有していきたい。

講師 | 田中 美穂

カクワカ広島 共同代表
(核政策を知りたい広島若者有権者の会)



福岡県北九州市出身、広島市在住。2017年に就職を機に広島に移り住み、核廃絶国際キャンペーン(ICAN)を通じて、カクワカメンバーと出会う。現在も会社員として働きながら、広島の被爆者・サロー節子さんから受け取った「祈るだけではなく、具体的なアクションを」という言葉を実践すべく活動中。

※カクワカ広島・・・主に広島に住む、高校生や大学生、会社員、カフェ店員たちが、核兵器のない世界の実現を願って緩やかにつながるグループ「核政策を知りたい広島若者有権者の会」、略して「カクワカ広島」。

2025年**2月16日(日)**

受付開始 ● 13:00～ 教育講演会 ● 13:30～17:00
(講演&パネルディスカッション)

会場 | 富士見文化会館101号室

神奈川県大和市中央5-2-29
小田急江ノ島線・相鉄線「大和駅」徒歩5分

参加費 一般 ● 1,000円
学生 ● 500円(高校生以下無料)